

第92回企画展

写真展

50年前の琵琶湖・堅田

－大西 艸人がみた自然と営み－



堅田全景 昭和44年(1969) 大西 艸人撮影

大津市歴史博物館

令和5年

2023. 10/7_土－11/19_日



開館時間 午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日 月曜日(10/9を除く)、10/10(火)

主催 大津市歴史博物館

後援 朝日新聞大津総局、C-radio、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、NHK滋賀放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局

観覧料 ※常設展示観覧料でご覧いただけます。
一般:330円(260円)/高校生・大学生:240円(190円)/小学生・中学生:160円(130円)

※()内は15名以上の団体料金。

※大津市内在住の65歳以上の方は、小中学生料金と同額。

※大津市内在住の障がい者の方、介護保険の要介護者及び要支援者とその介護者1名は無料(証明できるものをご提示ください)。

会場 企画展示室B



〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2-2
TEL:077-521-2100
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

写真展 50年前の琵琶湖・堅田

－大西艸人がみた自然と営み－

大西艸人氏が撮影した、いまから50年以上前の堅田や仰木の写真を展示します。大西氏は、昭和41年（1966）から昭和46年まで仕事で堅田に赴任し、休日を利用して堅田周辺や琵琶湖の風景を数多く撮影しました。昭和40年代の堅田は、琵琶湖大橋の開通（昭和39年）や堅田町と大津市、瀬田町との合併（昭和43年）、江若鉄道の廃線（昭和44年）など、町並みや暮らしの風景が大きく変化する時期にあたります。

本展では、大西氏が撮影した写真から約80点を展示するとともに、現在の堅田・仰木に暮らす人々のインタビューを交えながら当時の様子を紹介することで、町が持つ魅力や地域の変遷を紹介します。



琵琶湖からの行き来ができる居初邸【昭和45年（1970）10月4日】



琵琶湖の船の船先の力強さ【昭和45年（1970）10月25日】

大西艸人（おおにし そうじん）

1937年、岡山市に生まれる。
1965年、写真家・川崎亀太郎に師事。
1966年～71年、東洋紡績堅田研究所に赴任し、休日を利用して膨大な写真記録を残し「堅田再見」として発表。1998年、「堅田再見」回顧展を大津市北部文化センターで開催、作品を大津市歴史博物館に寄贈。
2005年、「干潟の詩」で播磨文化賞受賞。
写真集に『琵琶湖・堅田の原風景』『干潟の詩』『姫路城の四季』（東方出版）。兵庫県高砂市在住。

関連イベント

写真展スライドトーク

10月18日（水）、11月8日（水）

会場 歴史博物館講堂 時間 14時～（各回40分程度）

展示作品のポイントや、みどころをお話します。

講師：木津勝（本館副館長）

※申込不要。当日有効の観覧券が必要です。



内湖の淡水真珠の養殖棚【昭和43年（1968）10月6日】



陸揚げされた貝の選別【昭和42年（1967）12月10日】